

「不登校」の言葉なくそう

提唱の翼学園に賛同。ピンバッジ

愛媛キワニスクラブ

民間国際奉仕団体

「愛媛キワニスクラブ」

は4日、松山市のNP
O法人「翼学園」が進める不登校という言葉がなくそこの呼び掛け運動に賛同し、運動シンボルの「ブルース

WIDE EHIME

カイリボン」をデザインしたピンバッジ2千個を翼学園に贈った。子どもの学校復帰を支援する翼学園は、不登校という言葉が学校

に行けない子どもを苦しめると主張。「長期欠席」に表現を改めるよう訴え、シンボルのリボンを考案して運動を展開している。



愛媛キワニスクラブの木戸会長(右)からピンバッジを受け取る翼学園の大野理事長

同市余戸南3丁目の翼学園で贈呈式があり、キワニスクラブの木戸保秀会長が目録とピンバッジを贈呈。翼学園の大野まつみ理事長は「不登校という言葉がなくするのは20年以上前から切なる願い。リボンを作る夢が(ピンバッジで)かない、涙が出るくらいうれしい」とお礼を述べた。ピンバッジは賛同者に販売し、翼学園の運営資金に充てる。(杉本賢司)